

2021年9月5日、六本木に 最高のWATANABEが集結します。

日頃から六本木シンフォニーサロンで
最高の音楽を奏でてくださる
4人のWATANABE様による、
スペシャルなコンサートです。
特別なひと時を、どうぞ一緒に。

皆様に「私と六本木シンフォニーサロン」
というテーマでコメントをいただきました。



渡邊 史 ~ソプラノ~

東京藝術大学卒、同大学院修了。デュッセルドルフ、ザルツブルグにて研鑽を積み、ミレニウムニュークラシックオーディション第1位ほか、多くのコンクールに入賞。二期会公演には、故・実相寺昭雄演出『魔笛』侍女2でデビュー以来、歌唱力と存在感を要求される役にて出演を重ねている。本年11月には『こうもり』（日生劇場）イダ役にて出演予定。コンサートソリストとしてトークや解説を交えたスタイルが人気を得ており、常に特別な時間を作り上げている。近年ではオペレッタやミュージカルの台本、コンサートの企画演出、さらに外国曲の日本語歌唱訳詞の作成も手がけ、多方面で活躍中。滋賀大学准教授。NHK文化センター講師。二期会会員。

「六本木」は、トクベツな街です。そこらへんの街ではなく「ちょっとひと筋縄ではいかない…」そんな雰囲気のところ。「オシャレ」ではなく、「お洒落」！「カッコいい」ではなく「格好いい」！そんなふうに言いたくなります。その街に、隠れ家的にあるサロン…ここを知っている皆さんは、まさに「通人」であると申せましょう…親密にして家庭的、さらに「お洒落」なこのホールで音楽を奏でる喜びは、私たち演奏家にとって代えがたいものです。万全にすべからず、備えられた空間を音楽で満たし、時間を造っていく…その過程こそが、アート、と呼ばれるものなのかもしれません。きょうも、ステキな時間になりますように！



黒木 [渡邊] 直子 ~ピアノ~

東京音楽大学ピアノ科卒業、同研究科チェンバロ科1年修了。フランス・ニュース国際 夏期音楽アカデミーにて、世界的名演奏者 故 D. ボールドウィン氏にドイツ・フランス・スペイン歌曲伴奏法を師事。推薦コンサートに出演しディプロマ取得。その後ローマに留学し、教会でのコンサートや伊・独文化協会主催モーツァルト生誕250周年記念コンサート等に出演し帰国。現在は、オペラ・オペレッタ公演の音楽スタッフ、コンサートやサイトの共演者として、幅広く活動している。

シンフォニーサロンさんには、2012年よりお世話になっています。渡邊公威とのサロンコンサート以外にも、自分の挑戦のために「トロイメライ」という、ドイツ歌曲のコンサートシリーズも開催させて頂きました。

とにかく、いつでもこのサロンに来ると心穏やかに、そして集中することが出来る、不思議なところ…雰囲気温かく、みんなが笑顔になる、そういうサロンです。

♪予定プログラム♪

オペラ「リゴレット」、「こうもり」、「椿姫」、「メリーウイドー」からアリア、重唱、オペレッタ「シャルダーシュの女王」、リベルタンゴ、松島音頭 他



松枝 由紀子 ~ナビゲーター~

国立音楽大学教育音楽学部教育音楽学科第1類専攻卒業。在学中よりピアノ指導をはじめ、現在松枝びあの教室、松枝倶楽部（高校生以上の大人クラス）、ムジカフィオーレ（リトミック）を主宰、コーチングを取り入れ「生きるチカラ」を学ぶレッスンが好評。0歳から70代まで幅広い年齢層の指導にあたる。個人コーチング、アンガーマネジメントファシリテーターとして活動している。ピティナ正会員、ピティナ新宿×響ステーション代表、ピティナアドバイザー、財団法人生涯学習開発財団 認定コーチ、一般社団法人アンガーマネジメントファシリテーター

目の前に広がる六本木ヒルズ、そして木のぬくもりあふれ落ち着いたサロン、東京の真ん中にあることを主張しながら、何よりオーナーの柚美さんの心遣いがたくさん詰まっているこの場所が大好きです。この穏やかな空間はとても居心地の良いもので、コンサートを開くことが多く、朝日から夕暮れ、夜景、と刻々と変わる外の風景を眺めながら、ホワイエで皆様と語らうひとときはまた格別です。コロナでそれが叶わぬ今、またあの楽しみができることを楽しみにしている一人です。



渡邊 公威 ~テノール~

国立音楽大学大学院修了。文化庁派遣にてローマに留学。カルソー国際声楽コンクール3位、日本声楽コンクール2位等、コンクールに多数入賞。『魔笛』タミーノ、『愛の妙薬』ネモリーノ、『ルチア』エドガルド、『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『リゴレット』マントヴァ公爵等でオペラに出演。コンサートでも「第九」「メサイア」「レクイエム」「小荘厳ミサ」「口短調ミサ」等のテノールソリストとして出演。近年は東京二期会公演、『エロディアード』（ミシェル・ブラッソン指揮）にてジャン役、『天国と地獄』公演（大植英次指揮）にてブルート役で主演。東京二期会会員。二期会オペラ研修所講師。2012年にFacebookでサロンのことを知り、それ以来、隔月で「渡邊公威サロンコンサートシリーズ・ファミリーア」でサロンを使わせて頂いております。コンサート以外でも、コロナ禍の自粛中は毎月一度のコンサート仕立ての動画の撮影、先日はテレビ番組のインタビューの撮影でも使用させて頂きました。駅近でロケーションも良く、歌いやすいサロンでのコンサートは私の楽しみでもあります。またオーナー様はじめスタッフの皆様にはいつもご丁寧に対応頂き、感謝しております。これからも引き続き、こちらのサロンで楽しいコンサートをしてまいりたいと思います。



Miyack (ミヤック) ~アコーディオン~

国立音楽大学卒業。二期会オペラ・コレペティエ 塾終了。フランス公演中、地下鉄でアコーディオンと出会い活動を開始。ソロ活動とともに、ヴァイオリンとの「Deux Marche」、フルートとの「夢夢マルシェ」「Gipsy Jazz Trio」「琴と手風琴」などユニットでも活動。東京フィルハーモニーとの共演も多く、現代作品「ホログラム」、ショスタコピッチ「ジャズ組曲」、オペラ「ヴォツェック」等に出演。長崎平和特派員。CD「挑戦～Defi～」『My Place～場所～』ほか発売中。2014年より六本木シンフォニーサロンにて定期コンサート「ミヤックの場所」を行っている。躍動感あふれるその演奏姿は、アコーディオンと Miyack の運命の出会いを感じさせる。

アコーディオンとの出会いと、わが子の誕生は同じ時間の経過をたどっている。かなり遅いアコ演奏家と母としての不安な同時スタート。入学式にも運動会にも欠席の多い母である。にもかかわらず、Miyack という音楽家が一番応援してくれたのもこの小さな人だった。高校受験に失敗し不毛の高校生活をスタートさせた息子に「おまえ！がんばれよ」と言葉にする代わりに、「今の自分にやれることを！」の想いで、私は7年前この六本木シンフォニーサロンで「ミヤックの場所シリーズ」をスタートさせて頂きました。人との繋がり、優しさ、研究心、希望…このサロンの存在にはたくさん励まされています。心のライバルの息子もいよいよ来年は社会人。自分の道を見つけ一人で歩き始めます。私の次なる出発もこの六本木シンフォニーサロンから始まる気がしています。 Miyack